GRIPS
政策研究大学院大学
NATIONAL GRADUATE INSTITUTE FOR POLICY STUDIES

国立大学法人 政策研究大学院大学(GRIPS)
＜電子・情報＞補足資料

【2025年度関東甲信越地区国立大学法人等職員採用説明会】

GRIPS

Gateway to Global Leadership

政策研究大学院大学ではネットワークやセキュリティを守るIT人材を募集しています

大学で働く魅力

安定した環境で、IT・セキュリティの知識を活かせます	**国立大学という落ち着いた職場環境**で、日々の激しい変化や過度な競争に追われることなく、自分のペースで成長できます。 「セキュリティに興味はあるけど、ガツガツしすぎたした現場はちょっと…」という方にもぴったりのポジションですし、先輩職員が親身にサポートします。
ITだけにとどまらない、多様なキャリアパス	本学では、ITやセキュリティ業務にとどまらず、**希望や適性に応じて他部門での活躍も視野に入れています**。DX推進や学内の各種業務への関わりなど、ITスキルを活かしながら新たな挑戦も可能です。
大学の研究教育活動を推進するための運営基盤を守り、支える	セキュリティは大学のすべての部門に関わるため、組織全体の仕組みや流れが把握しやすいポジションです。**ITだけでなく、運営全体の視点を持つことができるため、広い視野を身につけることができます**。 GRIPSは最先端の研究や教育の場であり、様々な活動が行われています。その運営基盤のセキュリティを守り、安心して利用できることで大学の発展に貢献できます。

主な業務内容

本学の情報セキュリティ担当として、主に以下の業務を行います。
日々の業務は落ち着いた環境で進められ、特別なトラブルがなければ定時での勤務が可能です。

情報収集・脆弱性確認	メールやニュースサイトなどを通じて、最新の脆弱性情報を収集し、必要に応じて学内環境への影響を確認します。
端末・ネットワーク監視	職員が使用する端末やネットワーク機器において、不審な挙動がないかを定期的に確認し、必要に応じて初動対応を行います。
脆弱性診断の実施・支援	システムやサーバに対する脆弱性診断をツールを使用して実施し、影響度を判定します。学内の運用担当者と連携しながら、対策の検討・実施を進めます。
関係部門との調整・打ち合わせ	定期的にITサポート部門と状況を共有し、必要に応じて今後の対応方針やメンテナンス計画を検討します。
資料作成・運用フローの整備	対応履歴や打ち合わせ資料の整理、セキュリティ対応手順の文書化・更新などを行います。
外部からの通報対応・ログ調査	外部からの通報や情報提供に対して、ログ調査などの初期対応を行います。重大なインシデントでなければ、対応は軽微です。
その他のポイント	・業務の大半は定型化されており、急なトラブル対応はまれです ・セキュリティ領域に関心があり、落ち着いた環境でじっくり業務に取り組みたい方に適しています ・セキュリティを学びたい方にとって、実際の現場を経験しながら学べる貴重な機会です

必要な素養

- サイバーセキュリティやITの領域にアレルギーがないこと
- 基本的なITスキル（ITパスポート程度）を持っていることが望ましい

⇒大学側が**専門的な知識を体系的に身につけるための教育を準備し、支援します**ので、現時点のスキルは問いません

入職後の教育プランについて（情報セキュリティの例）

ステップバイステップのOJTで、現職のIT担当者が伴走しながら
サイバーセキュリティ対応の基本と業務に必要な技術をお伝えします。

ステップ1（1ヶ月）

まずは現場に慣れる

- 手を動かして、**セキュリティ業務の全体像**をつかみます
- 担当者が横について教えますので、**わからないことなどがあればすぐ聞くことができます**

● 利用できる教材・研修
- 情報処理技術者試験の書籍（ITパスポート）
- 合同研修への参加

ステップ2（1～3ヶ月）

ログ分析と簡単な異常検知

- 日常的なセキュリティ監視を担当者と一緒に実践し、**異常を見つけるスキル**を身につけます

● 利用できる教材・研修
- 動画研修など

ステップ3（3～6ヶ月）

インシデント対応の初動を知る

- 過去のインシデントなどを参考に、実際に対応してみることで**実践的な知識を身につけます**
- 実際にセキュリティインシデントが起きたときにも対応できるようになります

● 利用できる教材・研修
- 外部研修（Hardening競技会）などへの参加

ステップ4（6ヶ月～1年）

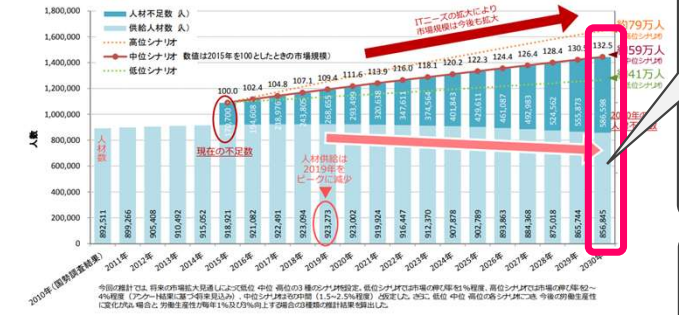
セキュリティ運用を主体的に担当

- **室内で相談しながら対応し**、徐々に自立して学内のセキュリティを守る立場になれるように支援します

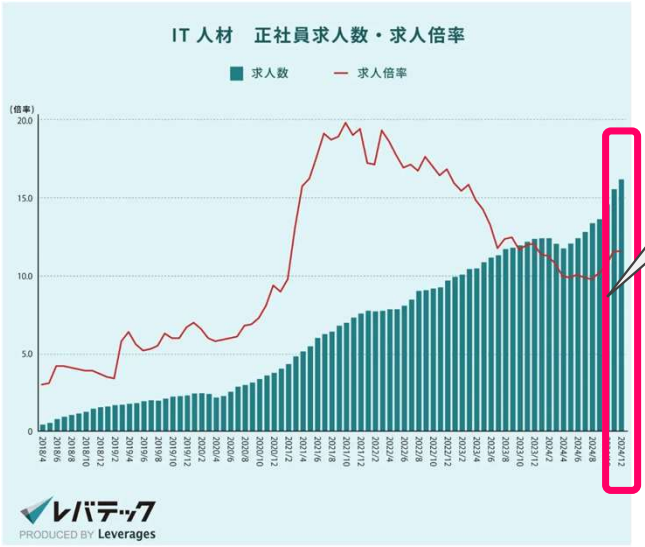
● 利用できる教材・研修
- 情報処理技術者試験の書籍（情報セキュリティマネジメント試験）

参考：IT業界・セキュリティ業界の動向について

IT人材の供給動向の予測



経済産業省が公表した「IT人材需給に関する調査※1」によると、**2030年には最大約79万人のIT人材が不足する見込み**です。



レバテック株式会社の「IT人材の正社員転職/フリーランス市場動向 12月※2」によると、**2024年12月時点でのIT人材の転職求人倍率は11.6倍**でした。
一方で、厚生労働省が発表した「一般職業紹介状況」※3では、2025年1月の正社員有効求人倍率は1.26倍となっており、**IT人材の需要は依然として高い水準で推移している**と言えます

IT 業界の転職求人倍率【2024年12月版】

順位	スキル・職種	求人倍率
1位	セキュリティ	54.0倍
2位	コンサル	41.8倍
3位	PM	24.6倍
4位	クラウド	22.8倍
5位	Go	19.8倍

レバテック
PRODUCED BY Leverages

※求人数 100 以上の主なスキル・職種より集計

需要の高いIT業界の中でも**特にセキュリティ分野は50倍以上の転職求人倍率**を誇っています。スキルを身につけることは、自分の市場価値が高めることにつながると言えそうです。

※1 https://www.meti.go.jp/policy/it_policy/jinzai/houkokusyo.pdf
※2 https://levtech.co.jp/research/2383975/
※3 https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_52677.html

一日のスケジュール

GRIPSではフレックスタイム制度を導入していますので、出勤、退勤時間は職員の裁量※に委ねられています。
一方、情報セキュリティインシデント(疑い含む)発生時は緊急対応(レアケース)が求められます。

職員Aのある一日のスケジュール

9:45	○メール、Teamsチェック
11:00	運用保守会社のメンバーとアップデート対象会議
12:00	近くのスーパーで昼食を購入し、自席で昼食
14:00	SOCから緊急通報があり、ユーザヒアリング実施。過検知が判明
15:00	学外の会議に参加
16:00	会議資料作成
18:30	帰宅

職員Bのある一日のスケジュール

8:00	○子供の送迎のため早めに出勤。メール、Teamsチェック
10:00	研修計画の策定
11:00	会議資料作成
12:00	近くの飲食店で同僚とともに昼食
14:00	情報セキュリティ研修の実施
16:00	早めに帰宅

緊急対応時(レアケース)

10:00	○出勤前に用事を済ませて出勤。メール、Teamsチェック
11:00	SOCからの通報により不審な通信を確認
12:00	被疑端末を確保、マルウェア感染を確認
13:00	CSIRT責任者、CISOへの報告、FireWallのログ確認
14:00	交代で昼食
15:00	学内端末のウィルススキャン実施、スキャン結果の確認
21:00	所管省庁への報告書まとめ
23:00	所管省庁へ報告書提出後、帰宅

※コアタイム(10時ー15時)、フレキシブルタイム(7時ー10時、15時ー22時)